

総合交通メールマガジン 第10号

平成21年4月30日発行

発行元：国土交通省 政策統括官付 高橋参事官室

目次



ごあいさつ (国土交通省 政策統括官付 参事官 高橋 総一)



Topics

・「モビリティサポートモデル事業」の募集について



地域の取組紹介

- ・鹿児島県
- ・東京都荒川区



Information

- ・総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！
- ・地域の取組募集！！



編集後記

ごあいさつ (国土交通省 政策統括官付 参事官 高橋 総一)



初めまして。4月に、新しく総合交通担当の参事官になりました、高橋です。

「総合交通メールマガジン」の発行元として、交通政策を担当する皆さんの日々の業務に役立つ情報をお届けするよう努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

さて、かく言う私も、約3年半余りにわたり自治体の交通政策を担当し、地方の公共交通の実情にふれる機会を得ました。

どこの地域でもある問題だとは思いますが、ご多分に漏れず中心市街地はシャッター通りと化し、集客力は著しく低下し、商店街の経営者の高齢化が進んでいます。一方、郊外には大規模な駐車場を持つ大型ショッピングセンターが乱立し、週末を中心にマイカーによる購買客を大量に集めている状況が出現するなど、都市構造の変化により従来と異なる交通流動が発生しています。

また、通勤、通学需要についても、少子化の影響で、高校生などの通学需要も縮小しています。比較的人口が集積している都市部ですら、日常生活を支えるバスは慢性的な赤字であり、自治体は財政的な厳しさから、路線バスに対する行政の支援も見直しせざるを得ない状況です。この結果、地域の交通は減便・廃止せざるを得ず、それがさらなる利用者の減少に拍車をかけるという、負のスパイラルに落ち込んでいます。

一方、中山間地の小規模集落に目を転ずれば、高齢者が半分を超え、マイカーを運転できる若者もいなくなって、通院や日用品の買い物もままならない状況があります。東アジアの主要都市と地方都市が一日交通圏となる状況が出現する一方、中山間地の住人は、通院や買い物に一日かけざるを得ない理不尽な現状です。もちろん、自治体においても病院部局、都市部局や教育部局などが交通部局と連携し、施設の再配置などが行われている例も出始めましたが、まだまだ緒に就いたばかりです。交通を都市の装置としてあらかじめビルトインしておくことが求められています。

また、幹線交通の問題も深刻です。国鉄時代特急列車が走っていた在来鉄道路線が、JR移行後複数のJR区間に分割され、徐々に減便され、ついには長距離の直通特急列車が廃止されてしまった例もあります。航空でも、地方空港どうしを結ぶ路線はどんどん縮小され、大空港での乗り換えを伴うハブアンドスポーク型の路線への再編が進み、地方都市間の移動が不便になってきています。

このような地方からの目線でみてきた交通政策についての問題意識が少しでも交通政策の推進に役立てば、と思っています。読者の皆様のご支援をよろしくお願い致します。

Topics

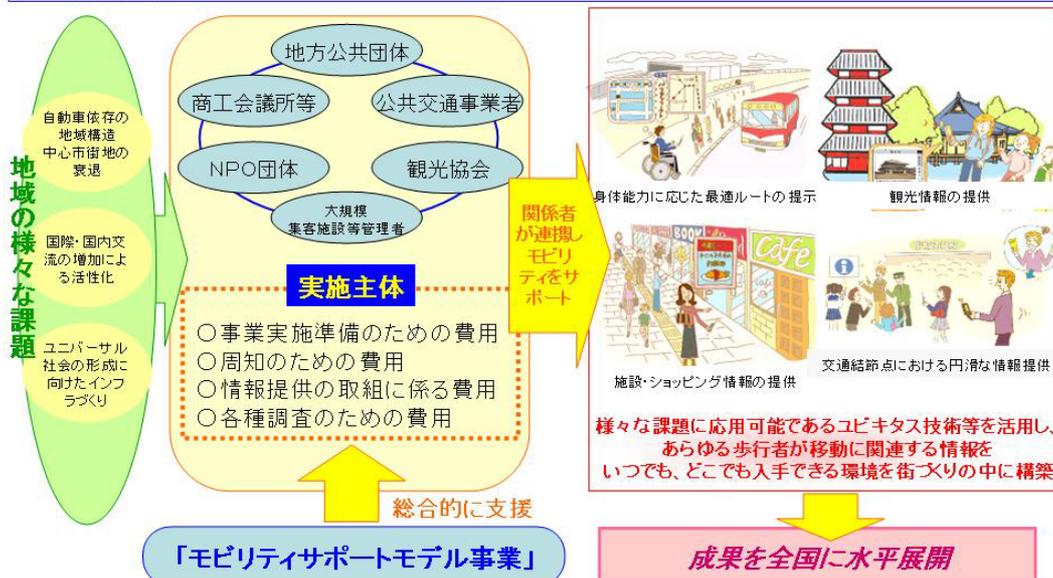
「モビリティサポートモデル事業」の募集について

(国土交通省 政策統括官付 参事官室)

「モビリティサポートモデル事業」については、特別号の**Topics**でも紹介させて頂きましたが、国土交通省では、平成21年度から、地方公共団体等が実施する、ユビキタス技術（場所情報コード）を活用し、あらゆる歩行者が移動に関連する必要な情報をいつでも、どこでも手に入れることができる街づくりを目指した取組を支援するため、「モビリティサポートモデル事業」の募集を行っています。

モビリティサポートモデル事業

地域の様々な課題に対応するため、ユビキタス技術を活用することによって、あらゆる歩行者が移動に関連する必要な情報をいつでも、どこでも手に入れることができる環境を街づくりの中に構築することが必要。
地域の発意による、上記の様な街づくりを目指した地域の先進的な取組のうち、全国的課題の解決に資するもの、あるいは、多くの地域に共通する課題の解決に資するものについて、「モビリティサポートモデル事業」により、地方公共団体等に対して支援する。得られた成果を全国的に水平展開することにより、ユビキタス技術を活用した移動支援システムの普及を図る。



モビリティサポートモデル事業の概要

モビリティサポートモデル事業の募集に関する概要は、以下の通りです。

(1) 地方公共団体を構成員に含む協議会から、ユビキタス技術（場所情報コード）を活用することによって、あらゆる歩行者が移動に関連する必要な情報をいつでも、どこでも手に入れることができる環境の構築を目指した取組を募集します（協議会設立予定であれば、応募時点で協議会が設立されていなくとも応募可）。募集締切は、平成21年5月12日（火）です。

(2) 本事業の実施箇所については、国土交通省が、有識者等を構成員とする第三者委員会からの助言・意見を参考に、先進性や汎用性、実施体制等の観点から評価し、選定します。

(3) 選定された箇所に対しては、委託調査として、1件当たり1,000万円程度の支援を行います。

(4) 事業期間は原則、単年度です。ただし、関連する事業との関係等により、やむを得ず2カ年度にまたがる場合は、事業期間を2カ年度にできます。なお、初年度の進捗状況が当初計画と比較して著しく遅い場合は、翌年度の委託契約を行わない場合があります。

(5) 委託調査で支出できるのは、事業実施準備のための費用、周知のための費用、情報提供の取組に係る費用、各種調査のための費用です。

※なお、本事業は調査委託という形をとりますので、恒久的な施設整備（位置特定インフラ）に係る費用は委託経費の対象外となります。ただし、調査委託の目的を達成するために必要最小限の機器類については、リースやレンタルに限って経費の対象とすることが可能です。

本事業の概要、実施要領及び提出様式については、以下のHPに掲載しておりますので、是非ご覧下さい。また、これまでの取組や本事業の実施について、ご不明な点がございましたら、以下までお問い合わせ下さい。

【モビリティサポートモデル事業の概要、実施要領及び提出様式】

http://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu06_hh_000010.html

【問い合わせ先】

国土交通省 政策統括官付参事官付

課長補佐 鈴木 祥弘 Tel: 03-5253-8111(ext. 53-112)

E-mail: suzuki-y2au@mlit.go.jp

調整第二係長 外山 喜彦 Tel: 03-5253-8111(ext. 53-117)

E-mail: toyama-y84sj@mlit.go.jp

地域の取組紹介

鹿児島県

県内の公共交通機関の路線、ダイヤ、運賃等に係る総合的な検索システムを構築した事例として、鹿児島県より「鹿児島県公共交通総合案内システム『交通ナビかごしま』運用開始」について紹介頂きます。

「交通ナビかごしま」は、本年4月1日に運用を開始し、パソコン、携帯電話やタッチパネル式表示器（鹿児島中央駅バスターミナル、鹿児島空港に設置）を通じ、県内外の方々に、公共交通機関の情報提供を行っています。



「交通ナビかごしま」トップページ



タッチパネル式表示器及び大型ディスプレイ
(鹿児島中央駅東口バスターミナル)

【鹿児島県の取組概要についてはこちら↓】

<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/0904kagoshima.pdf>

「交通ナビかごしま」(パソコン) : <http://www.kotsu-navi-kagoshima.jp/web/>

「交通ナビかごしま」(携帯電話) : <http://www.kotsu-navi-kagoshima.jp/mobile/>

鹿児島県庁ホームページ : <http://www.pref.kagoshima.jp/>

東京都荒川区

地方公共団体、交通事業者及び住民が連携して公共交通の魅力向上に努めている事例として、東京都荒川区より「都電荒川線沿線におけるバラの植栽事業」について紹介頂きます。

都電沿線のバラは、癒し効果や環境改善効果のみならず、区のイメージアップや観光振興にも一役買っています。



都電沿線のバラ



荒川バラの会の活動の様子

【荒川区の取組概要についてはこちら↓】

<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/0904arakawa-tokyo.pdf>

荒川区役所ホームページ : <http://www.city.arakawa.tokyo.jp/>

Information

総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！

総合交通メールマガジンでは、読者の皆様からのご意見・ご要望を踏まえて内容を充実させていきたいと考えています。誌面の感想、取り上げて欲しいテーマなど、どのようなことでも構いませんので、ご意見等頂けると幸いです。様式、送付先については、下記URLをご利用下さい。

URL : <http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/iken-merumaga.xls>

地域の取組募集！！

当室では、情報提供頂いた取組をメールマガジンで紹介することにより、各地域でノウハウ等の情報共有・情報交換ができればと考えており、総合的な交通施策の取組について情報提供頂ける自治体等を募集しています。自薦・他薦は問いませんので、お気軽にご連絡下さい。

【情報提供頂く内容】

例えば、

- ・ 低炭素社会の実現に向け、モビリティのあり方を見直す取組（交通の再編等）
- ・ 公共交通の利便性向上を目指した取組
- ・ 交通の改善により地域活性化を図る取組 など

※ これまでに、推薦頂いたものも含めて26件の取組を紹介させて頂きました。

バックナンバー一覧：

http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html



今回の「総合交通メールマガジン」では、鹿児島県から公共交通機関の総合的な検索システムについて、東京都荒川区からバラの植栽を通じて公共交通の魅力向上に努めている事例について紹介頂きました。

冒頭に新参事官からあいさつをさせて頂きましたが、公共交通が抱えている課題に対応するためには、各部署が密に連携を図ることが求められており、そうした問題意識を共有することにより、よい知恵が浮かんでくるのかと思います。

「総合交通メールマガジン」が課題解決のヒントとして微力ながら皆様のお役に立てるよう、今年度も多面的な視点で情報発信を行っていきますので、よろしくお願い致します。（T.K.）

【問い合わせ先】

国土交通省 政策統括官付参事官室 メールマガジン担当 小林、近藤

TEL：03-5253-8111（内線53-113、53-117）

FAX：03-5253-1675

E-mail：soukou@mlit.go.jp

URL：<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/index.html>

